



**国鉄労働組合 北陸地方本部**  
 (NTT)076-231-1506 (FAX)076-231-1114 (JR)065-2393  
 (Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp  
 発行人 藤野 能 章  
 編集人 山 田 輝 男

# 2022 春闘 6,000 円の賃上げ獲得と諸要求実現にむけて 無人化・減便・廃線?…今こそ労働組合の真価を!!

第138回拡大地方委員会開催

2月19日、石川県平和と労働会館において第138回拡大地方委員会を開催し、2022年春闘をはじめとする闘争方針を確立しました。

地方委員、地本執行委員、支部代表、職協代表、傍聴、植田西日本本部委員長の参加で、コロナ感染に最大限の対策を行い、約2時間と時間を短縮して開催されました。

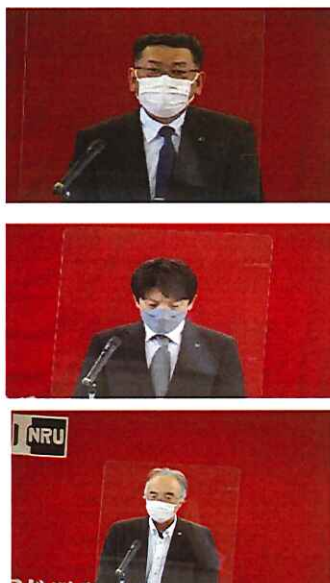
委員会議長に富山県支部で旧糸魚川支部の白澤氏が選出され「大糸線の廃線の問題が報道等により表面化され、大糸線を存続させる動きも併せて活発になってきた。守つていく闘いには是非賛同してほしい」と就任の挨拶をし、以後の議事を進行しました。

最初に国労北陸地本を代表して藤野委員長が「先の衆議院議員選挙では、貴重な成果を上げたが立憲民主党・共産党が議席を減らし残念な結果になった。今の与党に勝つには野党共闘しかない。西日本会社の廃線ありきの経営放棄の施策には反対せざるを得ない、収支のみで判断するのではなく、将来を見据えた公共交通の立場を維持させ、JRが今後も



経営に参画する等の方針を堅持するよう求め、利用者の移動する権利と、安全・安心な公共交通の確保に向けて、運動を強化しなければならぬ。組織強化・拡大については、現役世代が減少し、再雇用世代が増加し、拡大もままならない状況である。弾圧や差別から76年困難を乗り越え奮闘してきた。2022年春闘を機に奮闘しよう」と挨拶しました。

来賓の植田西日本新委員長は、先に開催された拡大中央委員会・西日本本部委員会で、定期昇給の完全実施・基本給平均2.2%相当額である



6000円を基本とする賃上げ等の闘争方針を決定してきた。西日本会社や貨物会社には2月14日同日に申し入れも行ってきた。各分会や職場においては、現場長交渉や闘争方針に基づく春闘行動を闘い、組織拡大にも繋げていって欲しいと挨拶がありました。

各代議員からも、組織拡大に向けての決意や公共交通を守らせる闘い、着雪点検での矛盾、一人乗務では安全・車内秩序は守れないと乗組み基準の問題、西日本会社社長の定例会見の自身など、多くの意見が出されました。

太田書記長はまとめで、春闘ではストライキ体制も含めた機関体制の確立、3・10西日本総行動では、全組合員がコロナ禍の状況でも情勢に相応しい行動を、拡大も視野にした工夫した取組みを各支部が取り組んでほしいとまとめ、闘争方針が承認されました。

最後に藤野委員長が音頭で団結ガンバロー三唱を行い委員会は終了しました。

